

皆様、こんにちは。
今日は日曜日。休日の日は、日頃迷惑をかけている家内の負担を減らすため、昼食は外食することが多いのですが、今日は与原にあるリンガーハットに行ってきました。出入り口にはアルコール噴霧器と一体化した体温測定器があり、35.7℃と音声による案内がありました。音声にちょっとびっくりしながら、冬の外気温が低い時は体表温度はあてにならんよねとか言いながら店内に入ると、ほぼ満席状態。時短営業なので夕食に外食されるお客が減ってるからかな？と家内が申しましたが、結構賑わってるなあ。メニュー表を見ながら店員さんを手を挙げて呼ぶ。この辺りは、メニュー、注文がiPadみたいなのでできる緒方さんの山小屋ラーメンの勝ちかな？

おいらは野菜たっぷりチャンポン。家内は野菜たっぷり太麺皿うどんが食べたいけど、メニューにはなく、尋ねてみたら皿うどんは野菜たっぷりにはできないと言われ、残念そう。結局、普通チャンポン、太麺皿うどん、野菜たっぷりスープ（野菜たっぷりチャンポンの麺なしバージョン、50円しか安くはない700円。高いなあとも思ったが、季節により価格が変動する野菜、しかも九州産にこだわっているをたっぷり安定した値段にするとこうなるのか？）、餃子5個を注文したら、店員さんから、にこやかにそれなら普通チャンポンの餃子セットにされたら、お安くなりますよと言われた。確かに普通チャンポン590円に餃子5つ250円、合計840円より759円と、約百円安い。こりゃあiPad注文では損したところじゃったと笑いが出た。商品が運ばれてきた。餃子の小皿が一つしかついてなかったの、店員さんにもう一つお皿くれない？と言ったら、何の返事もせずに去っていったので、セットなので小皿は一つしか出せないのかな、こりゃあ聞こえないふりしてスルーされたかな？と思ってたら、暫くして小皿をもってきたので、ことさらに大きな声で



有り難うと言った。野菜たっぷりスープの野菜を2人でシェアしながら食べた料理はまあ、美味しかったのは言うまでもありません。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1、真実かどうか

2、みんなに公平か

3、好意と友情を深めるか

4、みんなのためになるかどうか

もちろん、餃子はおいらが3つ食べたけど。支払いの時、2299円でしたが、レジで5000円札を出してもたもたしていたら、そういえばキャッシュレス支払いにすれば不潔なお金も触らずに待たずに済むのかもと感じた。しきらないけど。手袋をつけて釣銭を渡してくれる店員さんをぼんやり眺めてたら、どこかしこにテイクアウトやお持ち帰り用の商品の案内が貼ってある。コロナ禍の中、どうやって生き残りをかけるのか、一生懸命闘っているのだなあ。もうかれこれ30年以上、時々、リンガーハットのチャンポンが食べたくなり通ってますが、コロナのせいで、いろんなことを考えさせられた一日でした。

.....



次年度のロゴが決まりました。

次年度R I 会長



シェカール・メータ (インド)
ナマステ。ロータリーの世界各地から集まった「Movers and Shakers」の皆さん、こんにちは。地区ガバナーエレクトである皆さんはMovers（動かす人たち）であり、私は「シェカール」です

近隣R・Cへのメイクアップのご案内

月曜日・小倉中央R.C「リーガロイヤルホテル小倉」

火曜日・行橋R.C「みやこホテル」

火曜日・小倉南R.C「リーガロイヤルホテル小倉」

水曜日・田川R.C「ザ・プリティッシュヒルズ」

水曜日・小倉東R.C「ステーションホテル小倉」

木曜日・豊前R.C「ニューいずみ」

金曜日・苅田R.C「パンジープラザ」

金曜日・小倉R.C「リーガロイヤルホテル小倉」

金曜日・豊前西R.C「築上町リサイクルプラザ」

土曜日・福岡城東R.C「ホテル日航福岡」

第1801・02回合併号Week Report令和3年2月17日 No.23

国際ロータリー第2700地区行橋みやこロータリークラブ

「新しいロータリーは機会の扉を開く」
2020-2021年度 第2700地区
ガバナー 古賀 英次

「みんなでロータリーを楽しもう！」
2020-2021年度 行橋みやこロータリークラブ
会長 内田 克彦

本日のプログラム		2月は平和模索と戦争予防月間	
◆ 開 会「点鐘」 ◆ ロータリーソング「我らの生業」 ◆ お客様・ビジターご紹介 ◆ 会長の時間 ◆ 幹事報告・委員会報告 ◆ 会員増強委員会 ◆ 閉 会「点鐘」		【広報・IT二十二豊委員長活動方針】 当委員会は、マスメディアやインターネットを媒体として、ロータリークラブの活動内容や存在意義を広く一般社会の人々に発信し、理解や共感を深めていただくことを活動方針としたい。これは同時に他クラブや地区への発信となる。また、クラブ内部に向けては、IT利用率の向上を促してゆきたい。	
例 会 予 定		出 席 報 告	
◆2月24日(水) 職業奉仕委員会 ◆3月 3日(水) 会報雑誌委員会 ◆3月10日(水) 青少年育成委員会 ◆3月17日(水) 姉妹クラブ委員会 ◆3月24日(水) プログラム委員会 ◆3月31日(水) 休会 ◆4月7日(水) 創立37周年記念式典		会員数:56名 メークアップ: 名 欠席者: 名 出席率 % お客様:	
		2月のお誕生日	
		有門功太郎R(4日)・竹林博幸R(5日) 松山貞徳R(19日)・増田淳治R(20日) 山口友美様(13日)・渡辺瑞恵様(17日)	



皆様、こんにちは。
コロナ禍の中、ご自宅で過ごされている方が多いかと思われまますが、読書する機会も多くなっていることでしょう。そういう中で、今日はお薦めの本の紹介をしたいと思います。それは、敬愛する友道健氏先生の著書、「方円の器Ⅱ」です。友道先生は福山市で、元、熱血校長先生として名を馳せた教育者です。方円の器とは、福山市神辺町（かななべちょう）にある江戸時代に生きた儒学者、菅茶山（かんちゃざん）先生が開いた私塾、廉塾（れんじゅく）に置かれた方円の手水鉢（ちょうずばち）に由来します。水には自分の形がない。重箱に入れると四角に、桶に入れると丸い形にと、器に合わせてたちどころに姿を変える。人もそれと同じで、入れる器(環境や教育、交友など)によって、良くも悪くもなるのだ…。彼は、茶山先生に倣い、中学という学びの場が無限の

可能性を秘めた若者たちを導く最適の器になるよう精魂を傾けてきました。
具体的には、不登校の子がいれば、自ら何回も家庭に出向き仲良くなり、一緒に釣りに行き、共通の趣味の長渕剛の歌などの会話を交わし、「大丈夫、心配するな、何とかなる」という一休さんの有名な言葉をかけながら、最後には大物を釣り上げました。一緒に喜んだ翌日には、彼は学校に出てくるようになり、翌年には生徒会活動を通じて学校を引っ張るようになった話や、「そうだね」、「良かったね」、「困ったね」という宗教学者の釈徹宗さんの言葉を生徒の指導に魔法の言葉として生かしているという話や、不良が暴行や窃盗を繰り返したあげく警察に逮捕され、家庭裁判所で裁判されることになった時には裁判官と示し合わせ、「この生徒を自分に任せてほしい」と発言し、鑑別所に入れられた彼に会いに行き、「君のことを心から心配している男がここに一人いる。君は一人ではない」という言の葉をかけたりにしていた。時は流れ、成人式の日にはすっかり一人前になった彼から呼ばれてお礼を言われた時には泣けてきたそうです。分かり合える日は必ず来る、真剣に関わり切ればというのが先生の持

●創 立・・・1984年4月3日

●例会日・・・水曜日(12:30～13:30)

●例会場・・・京都ホテル Tel 0930-23-1800 行橋市宮市町9-18

●事務局・・・〒824-0005 行橋市中央1丁目9-50(行橋商工会議所 別館1階)
TEL0930-25-0655 FAX0930-25-5700 E-mail:y-miyako@eagle.ocn.ne.jp

●会 長……………内田克彦

●副会長……………竹本一美

●幹 事……………山口剛志

●会報雑誌委員長・・・山本道治

●URL: https://ym-rotary.club/

論です。先生が校長先生になられた、神辺中学校、大成館中学校では、「一生懸命はブラボー、一生懸命はかっこいい」をスローガンにして生徒たちのやる気を引き出していました。「掃除、挨拶、ありがとう」を学校経営の三種の神器として、ピカピカに磨かれたタイルは先生の学校の象徴となっていたそうです。神辺中サッカー部を率いていた時、明德義塾の強豪チームと当たった際、相手監督から、「強い弱いではなく、チームとしてとても気に入ったから、明日は最後まで全力で戦います」と言われた結果、前半終了時のスコアは0対7。ハーフタイムで、先生は活を入れたそうです。「相手のチームが全力で戦っているのは、お前たちを尊敬しているからだ。お前たちが最後まで一生懸命闘う気持ちを前面に出し続け、仲間を信頼していれば道は拓ける。このままおめおめと神辺に帰れるか！何か一つでもいいから相手チームの素晴らしいところを盗め。相手より勝るところを見せてみろ。悔しかったら声の大きさだけでも相手に負けるな！」後半も相手は最後まで手を抜かなかったため、攻められっぱなしだったが、何と、0対1で試合後、明德の監督さんから褒められたそうです。その後、チームの皆はこの時の悔しさをバネに猛練習をして、後日の大会では地区準優勝をしたそうです。

こうした素晴らしい教育を実践してきた友道先生に悲劇が訪れたのは、2017年1月、58歳の時でした。長く続く腰痛に苦しめられ病院を受診して検査後に医師から聞いた病名は、何と、血液のガンと言われる多発性骨髄腫でした。直ちに入院、抗がん剤の治療を受けましたが、2か月後の3月9日、卒業式の前日、友道先生はパジャマからスーツに着替えて大成館中学校の体育館で全校生徒の前に立っていました。自分が校長先生として全校生徒の前で語ることはもう2度とないだろうと覚悟を決めてのスピーチでした。

残念ながら、僕は明日の卒業式に出席出来ないが、一言、君たちに声を掛けたかったし、君たちに会いたかった。人生ってな、本当に思うようにいかんと思う。勉強しても、勉強しても、うまくいかないことって、いっぱいあるじゃろ。先生も、こういう病気になってから、何でかな、といろんなことを考えたよ。人生って、うまくいかないことの方が多いんだ。それが当たり前なんだわ。なんで俺だけ・・・そんなこと思ってもしょうがないんよ。前に進まんのか。そんなときに、僕が心から思うのは、あきらめんことや。どんなことがあっても、最後の最後まであきらめんことや。努力してな、努力したって成績が必ず上がるとは限らんのか。だけどな、だけどな、努力したことは絶対無駄にはならんのか。君らの人生のいろんなところで、力になるんだ。勉強は自分でするもんや。スポーツも自分でするもんや。自分と自分との闘いだ。そして、最後の最後まで自分を信じ切れるかどうか。それがあきらめんということ。僕は、今、その勝負をしとるんだ。

どんなことがあっても、絶対にあきらめん。絶対にここに立つために帰ってくる。友道先生はそう言って、再び、病院に帰って行き、抗がん剤や造血幹細胞の自家移植など厳しい治療に堪え、一時は回復して退院されました。退院後、私は家内（仕事の関係でずっと以前より既知の間柄）とともに、福山市まで彼に会いに行き、お酒を酌み交わしました。発病当時、彼には3人の娘さんがおられたのですが、長女さんの結婚式のヴァージンロードと一緒に歩くのを目標に頑張り、今では次女さんも嫁がれ、3人の孫に恵まれたそうです。孫が生まれるたびに免疫力がアップしたと仰っておられました。しかし、誠に残念ながらその後、2019年9月、再発が判明、再び闘病生活を今日まで続けておられます。再入院後は昔取った杵柄で、病院落語を発表、辛い治療生活を豪放磊落に笑い飛ばしておられます。そして、教育者としての集大成として、本書を出版されました。本書は一人の熱血教師が如何にして生まれたか、彼の生い立ちから、会計士になろうとしていた彼が何故教育の道に進んだのか、そして、教師になられてこれまでの彼の教育に対する崇高とも思える熱意により、中学生という水が方円の器を与えることにより如何に素敵な大人になっていくのか、教育者ならではの矜持が示されており、改めて教育というものが素晴らしいことを痛感させられます。本書を拝読して、私はこの本は全ての教育者に捧げるべきバイブルだと思いました。教育の荒廃、これは我が国にとって、喫緊の課題です。本書は、友道先生が在職中から書き留めていた膨大な量の原稿と、闘病されてからの命の叫びを込めた原稿を縦の糸、横の糸のように卓越した編集力で纏めて下さった「食卓の向こう側」で有名な西日本新聞社の佐藤弘記者と、アマチュア写真家の日比野憲輔さんの美しい写真に友道先生が揮毫された書がコラボ（カラーで見れないのがちと残念）された快著です。読み終えて、あの「はなちゃんのみそ汁」で有名になった西日本新聞の安武信吾さんの作品のように、是非とも映画化されるとよいなあと思いました。いや、是非、映画化して下さい。辣腕プロデューサーの村岡克彦さん、宜しくお願いします！そうになったら、友道先生、また一つ楽しみが増えますよね！



教育とは最高のワクチン。きっとコロナにも効きます。方円の器、誠に言いえて妙です。注文は私まで。（友道先生は2月8日（朝）、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します 合掌）

第1801・02回合併号	Week	Report	令和3年2月17日 No.23
【本日のプログラム】 2月10日 ICS委員会（International Community Service） 委員長 田中聰樹R			
2月10日の例会が中止になり、しかし週報は発行したいためにと原稿の依頼があり少しICSについて語ります。元々はWCS委員会（World Community Service）として2700地区は活動をしてきた。しかしRIの本部でこの部門の活動が機能出来なくなってRIのWCS委員会は消滅した。ところが2700地区は20年以上のWCSの活動実績があり地区の委員会もありこの機能を失くすのはしのび難いと言う意見もあつて、ICSと名前を変えて2700地区ではここ4～5年続けてきた経緯がある。しかし確実な情報ではないが来期から2700地区ではICS委員会が独立して存続するわけではなく、多分ロータリー財団の中の一部門として存続するのではないかと私は推察しています。いずれにしても国際社奉仕（ICS）はロータリーの活動にとって大事な部門です。昔、3大奉仕活動の一つである社会奉仕活動は誰もがその地域で行う、ロータリーの重要な部門であることは理解できると思います。地域の社会奉仕でなく外国のクラブの社会奉仕活動に国際的に協力や援助をする事も大事である事は皆さんも理解できると思います。大事な委員会ではあるが外国での協力活動の為、その企画や実行は大変難しい面があります。私も10数年前まで、この難しいWCS活動を地区の委員長等、10年以上関わってきました。何故難しいかと言えば、外国のクラブの奉仕活動で、どこの国のどのクラブが何の協力を求めているかの情報がまず必要で、そことコンタクトを取り、内容を把握し、自分のクラブにそれを紹介しどのくらいの費用を負担できるかを協議し、理事会のOKを取ってスタートをすると言う過程があり、さらに金額が不足の場合は2700地区の各クラブに内容紹介をして賛同するクラブと連絡を取ってまとめていく行程もあります。さらに外国の当核クラブと何度も連絡を取り合い実行に至るわけですが、実行後もその計画がきちんと行われたかの検証もしないといけません。従ってその担当者は外国のそのクラブに足を運ぶ旅費、ホテル代、と数日の時間の犠牲を必要とします。誰でも出来るわけではないし、スキルも必要です。そのために教育と経験が要求される委員会であります。過去においては藤井さん、佐藤さん田中、真鍋さん大谷さんと		地区のWCS、ICS委員会をリードしてきた経緯があります。時間がかかってもわがクラブでも形が変わってもこの国際社会奉仕は続けていきたいと考えています。6月9日にまたICS委員会のプログラムが組まれています。その時にこの説明と昨今のロータリーの変化を卓話したいと考えています。	
【幹事報告】 ①地区大会出席者について 今回の大会は、大会事務局より各クラブ5名までの登録依頼 内田会長、山口幹事、大久保会長エレクト、藤嶽幹事エレクト、山田会長ノミニーの5名で出席。			
②世界大会は中止 バーチャルで行われる為、参加方法が分かり次第、週報にて知らせる。			
③創立37周年記念式典について(4月7日) 夜間例会をやめて昼に通常例会を行う。			
④今後の例会について 緊急事態宣言中は休会。早めに解除された場合、早急に臨時理事会を開き審議して決定する。			
⑤松岡Rが1月31日付で退会されました。			
【委員会報告】 親睦委員会 【良い人誕生日】			
			
例会がお休みなので、岡崎委員長が直接ご自宅まで持って行っています。お疲れ様です。			
			